

9

「携挙って何？」
「なんでそんなことが
起きなきゃならないの？」

何も知らない人に質問されて
わかりやすく説明できますか？

10

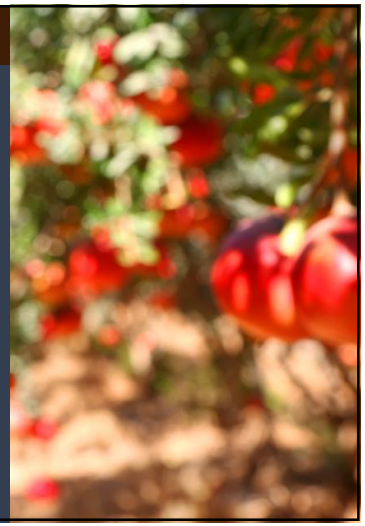
それでもリンゴの木を植える

❶大迫害　24章15～28章

❷再臨　24章29～34節

❸携挙　24章35～51節

今を生きる私たちの態度
まとめと適用



聖書　新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会　許諾番号4-1062-2

11

文脈の確認　神殿で最後の吟味を受けるメシア

- 過越の祭りで祭司のためにささげられる特別な子羊。
  その**吟味の期間**、メシアは神殿で**最後の論争**を受ける。
- 神殿での最後の論争に、メシアが勝利。
  傷もしみもない、完全な子羊だと明らかに!!
- エルサレムの宗教指導者の罪と裁きを宣告。
  来るべき神殿の崩壊を嘆き、対岸のオリーブ山へ。

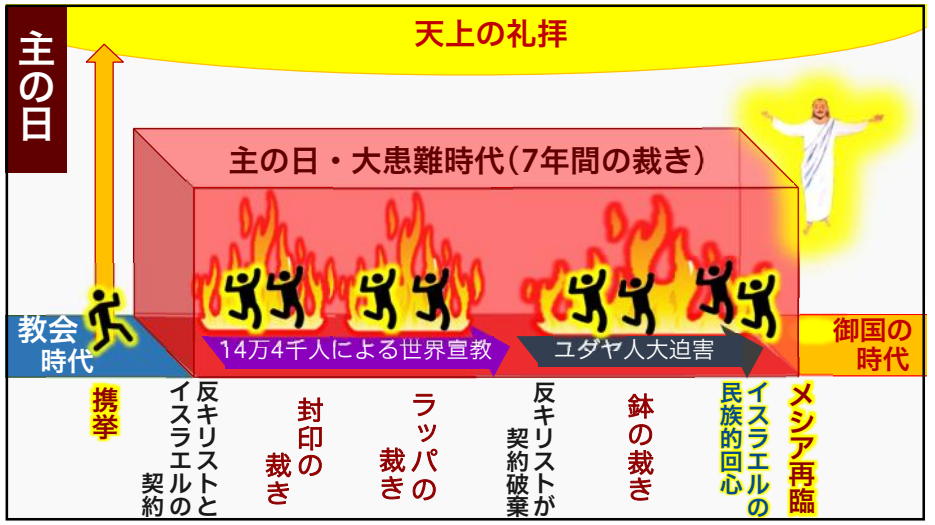
メシアは、終わりの時代について語られた

12

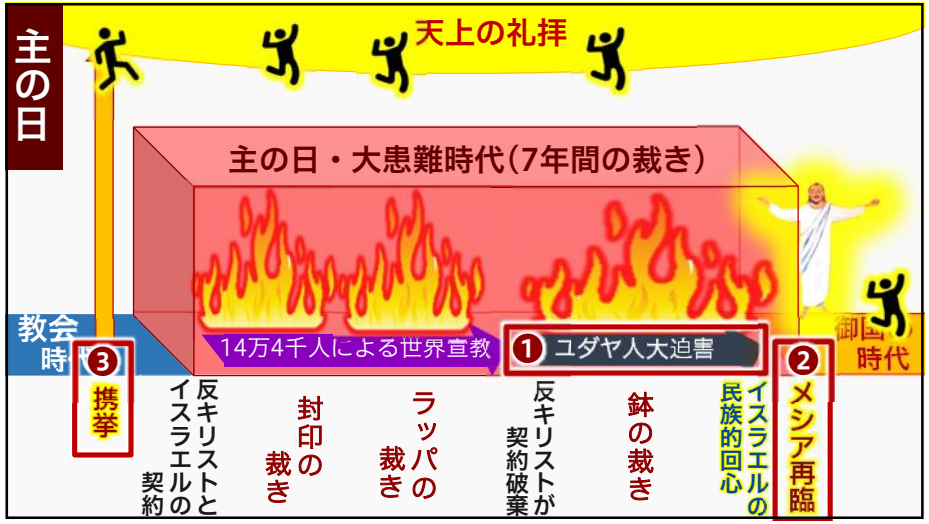
前回のまとめ　終わりの時代の　過去・現在・未来

時代		主イエスの預言	起きたこと　起きること
終わりの時代	過去		エルサレム陥落・神殿崩壊(70年) 大勢の偽キリスト　戦争や戦争の噂
	現在		**産みの苦しみの始まり** 民族は民族、国は国に　…世界大戦 大飢饉、大地震
	未来		反キリストとイスラエルが契約(7年) 御国の福音…大宣教、大リバイバル
		大艱難時代	イスラエルへの大迫害　➡最終戦争(ハルマゲドン) 忍耐の末の救い　➡イスラエルの民族的回心 メシア再臨・裁き 千年王国へ

13



14



15



16

❶大迫害　反キリスト　24:15～16

それゆえ、預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす忌まわしいもの*』が聖なる所に立っているのを見たら――読者はよく理解せよ――

ユダヤにいる人たちは山*へ逃げなさい。

＊反キリスト…艱難期後半、本性を現し、
　神殿を汚し、イスラエルを大迫害。
＊ボツラ(ペトラ)



17

❶大迫害　迅速な侵略　24:17～18

屋上にいる人は、家にある物を取り出そうとして下に降りてはいけません。

畑にいる人は上着を取りに戻ってはいけません。

■反キリストの侵略は、速やかに来る。



18

❶大迫害　主の憐れみ　24:19～20

それらの日、身重の女たちと乳飲み子を持つ女たちは哀れです。

あなたがたの逃げるのが冬*や安息日*にならないように祈りなさい*。

＊イスラエルの冬は、雨期。
　ワジに水が流れれば渡渉は困難。
＊安息日には移動ができない。
＊主が逃れの道を用意される。



19

❶大迫害　大艱難　24:21～22

そのときには、世の始まりから今に至るまでなかったような、また今後も決してないような、大きな苦難があるからです。

もしその日数が少なくされないなら、一人も救われないでしょう。しかし、選ばれた者たち*のために、その日数は少なくされます*。

＊神の民・イスラエル
＊大艱難時代は、七年間。
　イスラエルへの大迫害は、後半の3年半。



20

❶大迫害 **偽のしるし** 24:23～24

そのとき、だれかが『見よ、ここにキリストがいる』とか『そこにいる』とか言っても、信じてはいけません。

偽キリストたち、偽預言者たちが現れて、できれば選ばれた者たち*をさえ惑わそうと、大きなしるしや不思議*を行います。

＊イスラエル

＊天から火を降らせる。像が口をきく。
致命傷を負って復活する。(黙13章)



21

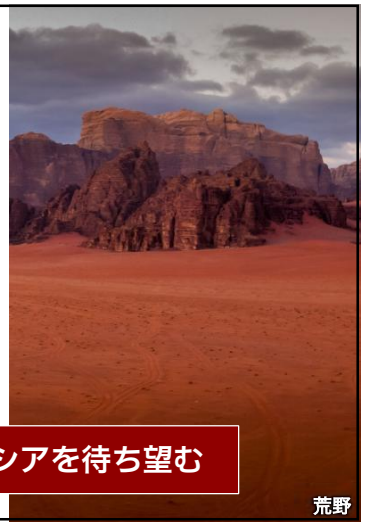
❶大迫害 **事前の警告** 24:25～26

いいですか。わたしはあなたがたに前もって話しました*。

ですから、たとえだれかが『見よ、キリストは荒野にいる』と言っても、出て行ってはいけません。『見よ、奥の部屋にいる』と言っても、信じてはいけません。

＊メシア自身が大艱難時代を事前に警告。

主の約束を信頼して、再臨のメシアを待ち望む



22

❶大迫害 **主の再臨** 24:27～28

人の子の到来は、稲妻が東から出て西にひらめくのと同じように*して実現するのです。

死体のあるところには、禿鷹が集まります*。

＊メシアの再臨は、一瞬にして、明確に。
まばゆいほどの神の栄光を伴って。
➡すべての偽キリストは排除される

＊一瞬にして裁かれた者たちの肉を
鳥が喰らう(黙19:21)



23



24

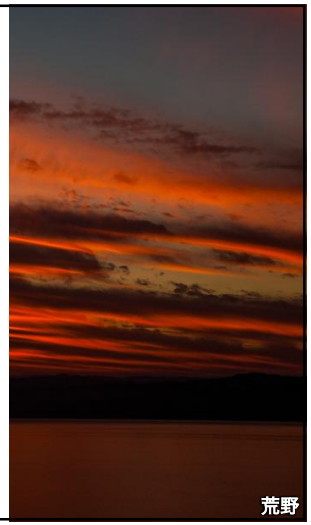
❷再臨　主の再臨　24:29～30

そうした苦難の日々の後、ただちに太陽は暗くなり、月は光を放たなくなり、星は天から落ち、天のもろもろの力は揺り動かされます。

そのとき、人の子のしるしが天に現れます。そのとき、地のすべての部族は胸をたたいて悲しみ*、人の子が天の雲*のうちに、偉大な力と栄光*とともに来るのを見るのです。

＊イスラエルを迫害していた者たちは悲しむ

＊メシアは、神の栄光（シャカイナグローリー）を伴ってこられる。

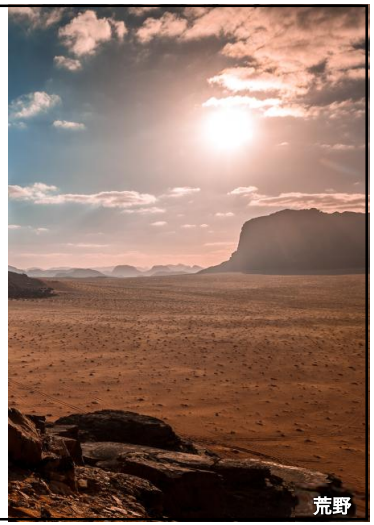

荒野

25

❷再臨　御使いたち　24:31～32

人の子は大きなラッパの響きとともに御使いたちを遣わします。すると御使いたちは、天の果てから果てまで四方から、人の子が選んだ者たちを集めます。

■イスラエルの残れる者たちが、
全世界から集められる。


荒野

26

❷再臨　教訓　24:～3233

いちじくの木から教訓を学びなさい。枝が柔らかになって葉が出て来ると、夏が近いことが分かります。

同じように、これらのことをすべて見たら*、あなたがたは人の子が戸口まで近づいていることを知りなさい。

＊再臨前に起こると預言されたすべてが
起こってはじめて再臨が間近と分かる。

求められている、落ち着き


イチジクの新芽

27

❷再臨　主のことば　24:34～34

まことに、あなたがたに言います。これらのこと*がすべて起こるまでは、この時代が過ぎ去ることは決してありません。

天地は消え去ります。しかし、わたしのことばは決して消え去ることがありません。

＊オリーブ山で主イエスが告げた、
終わりの時代のすべての課程。

■主イエスの終末預言は、決して覆らない。

ただ主の約束に信頼せよ!!


荒野

28



29

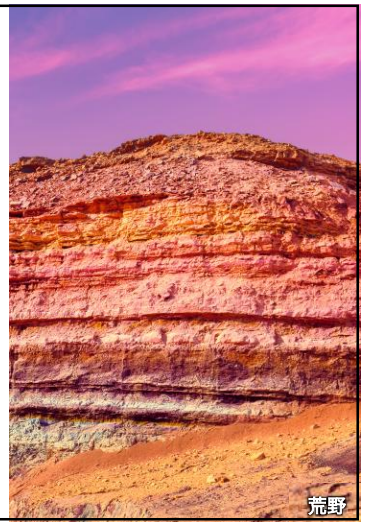
❸携挙　父だけが　24:36

ただし、その日、その時がいつなのかは、だれも知りません*。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。

＊主の日がいつ来るか、誰も知らない。

➡この時点では、イエスすら

繰り返し促される、落ち着き



30

❸携挙　ノアの日同様　24:37～39

人の子の到来はノアの日*と同じように実現するのです。

洪水前の日々にはノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていました。

洪水が来て、すべての人をさらってしまうまで、彼らには分かりませんでした。人の子の到来もそのように実現するのです。

＊大洪水の痕跡の上にこの世界はある

■艱時は、人々の思いもよらない時に来る



31

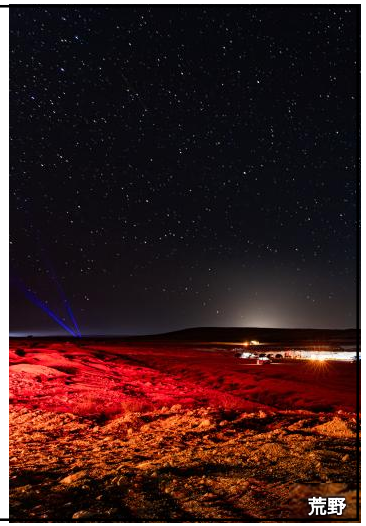
❸携挙　二分する運命　24:40～41

そのとき、男が二人畑にいると一人は取られ、一人は残されます。

女が二人臼をひいていると一人は取られ、一人は残されます。

■携挙の瞬間、地上にいる真の信者は、
一瞬で空中のイエスの元に挙げられる。

➡偽信者と不信仰者は残される

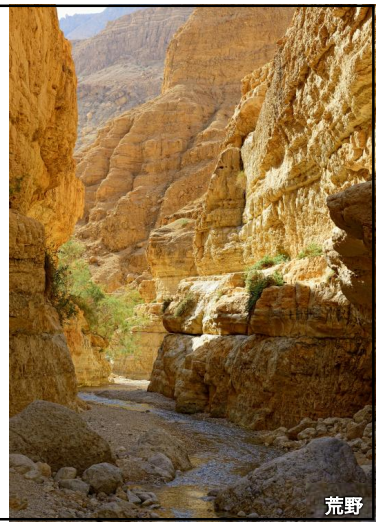


32

❸携挙　目を覚まして　24:42

ですから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来られるのがいつの日なのか、あなたがたは知らないのですから。

■信仰の目を開いて、
　いつでも備えて置くこと。



33

❸携挙　盗人のように　24:43～44

次のことは知っておきなさい。泥棒が夜の何時に来るかを知っていたら、家の主人は目を覚ましているでしょうし、自分の家に穴を開けられることはないでしょう。

ですから、あなたがたも用心していなさい。人の子は思いがけない時に来るのです。

■いつ来るか分からない主に備えることが、
　信仰者に課された務め。

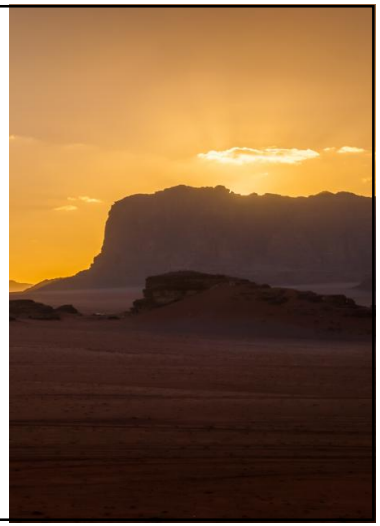


34

❸携挙　忠実な僕　24:45

ですから、主人によってその家のしもべたちの上に任命され、食事時に彼らに食事を与える、忠実で賢いしもべ*とはいったいだれでしょう。

＊しもべたちの長
　➡主人の信頼を得て
　　重要な働きを託されたしもべ
　　…ヨセフのような人物



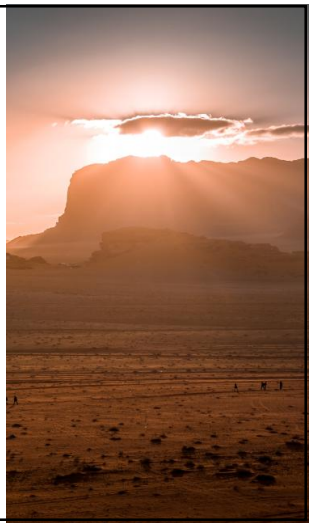
35

❸携挙　最高の報い　24:46～47

主人が帰って来たときに、そのようにしているのを見てもらえるしもべは幸いです。

まことに、あなたがたに言います。主人はその人に自分の全財産を任せるようになります。

■地上生涯での主への忠実な奉仕に応じて、
　千年王国で主の財産を任せられる。
　　➡御国での報酬



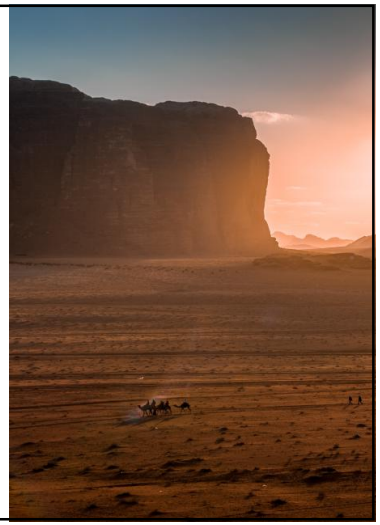
36

❸携挙 **悪いしもべ** 24:48～49

しかし彼が悪いしもべで、『主人の帰りは遅くなる』と心の中で思い、

仲間のしもべたちをたたき始め、酒飲みたちと食べたり飲んだりしているなら、

■主の警告をないがしろにして、
主の約束を信じていない。
➡欲望のままに世に浸っていたら？



37

❸携挙 **厳しい罰** 24:50～51

そのしもべの主人は、予期していない日、思いがけない時に帰って来て、

彼を厳しく罰し、偽善者たちと同じ報い*を与えます。しもべはそこで泣いて歯ぎしりするのです。

＊主の約束を信頼せず、嘲るものには、
最も重い裁きが!!

偽信者には厳しい裁きが下される



38



39

まとめ **主イエスの話された順番**

❶大迫害 …大艱難時代の後半

❷再臨 …大艱難時代の最後 **➡将来に待ち望むこと**

❸携挙 …大艱難時代の前 **➡今、備えること**

■ゴールを先に、間近に迫る携挙を最後に告げられた。

私たちが第一に心すべきは、携挙

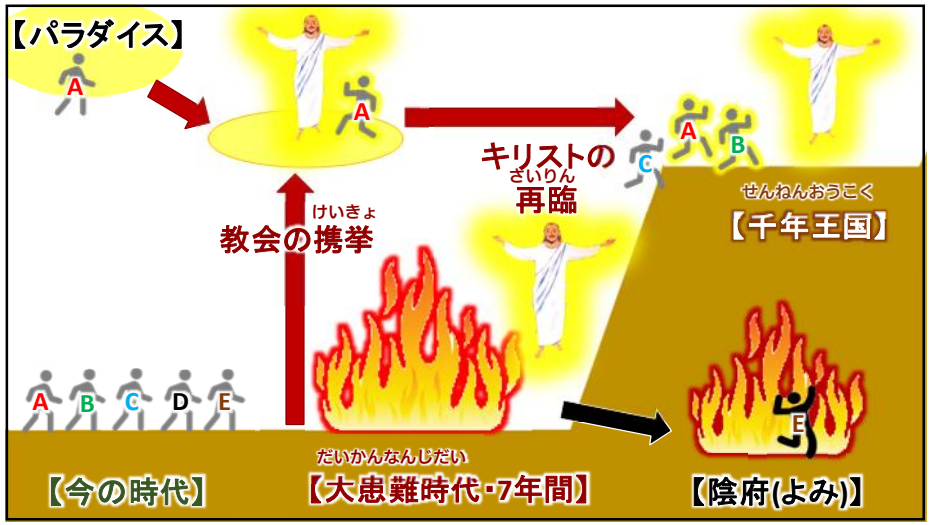
40

携挙（空中再臨）

「終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちに変えられます。ラッパが鳴ると、死者は**朽ちないもの**によみがえり、私たちは変えられるのです。
Ⅰコリント 15:52」

■ある瞬間、福音を信じたすべての者が、
一瞬のうちに空中のイエスのもとに挙げられる。
➡同時に**栄光の体**に変えられている

41



42

世界の大リフォーム・大患難時代





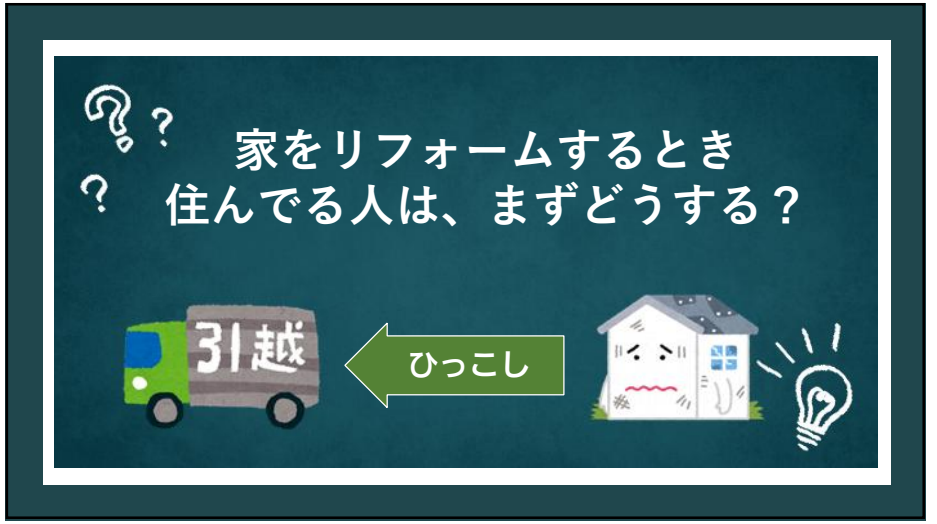
だいかんなんじだい
大患難時代は、世界の大リフォーム
神様が世界を新しくつくり変えられる。

大リフォームでは、家の天井（てんじょう）も壁（かべ）も床（ゆか）もはがしちゃう。家にいたらたいへん!!

だいかんなんじだい
大患難時代に地上にいたら？
とんでもないことに!!



43



44

リフォームが終わったら？
新しくなった家にもどるよね？



45

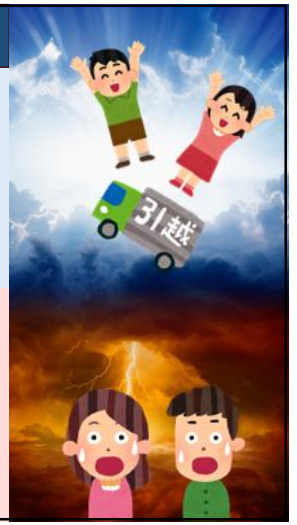
世界の大リフォーム前の引っ越し・携挙（けいきょ）

❶大患難時代（だいかんなんじだい）の大リフォームが始まる前に、
神様が、信じる人を天に**引っ越し**させる!!

➡**携挙**（けいきょ）

❷のこされた人たちは、
世界の**大リフォーム**にまきこまれる!!

➡**大患難時代**（だいかんなんじだい）



46

大リフォーム・大患難時代（だいかんなんじだい）の終わり

❸大患難時代（だいかんなんじだい）の最後、イスラエルが悔（く）い改（あらた）めて、イエス様がメシアだと信じる。

➡イエス様が栄光の姿でもどってきて、
世界を裁かれる。**再臨（さいりん）（さいりん）**



❹**携挙**（けいきょ）された人は、大患難時代（だいかんなんじだい）の後、
大患難時代に信じた人といっしょに
新しくなった世界に、イエス様と住む♪



47

適用　間近に迫り続けてきた携挙（空中再臨）

■ペンテコステ以降、常に間近に迫っていたのが、**携挙**。

■**携挙**の時期について分かっていること
❶大艱難時代の前に起こる
❷いつ起こるかは誰も知らない。
❸突如として起こる

「ですから、目を覚ましていなさい。 24:42」

48

適用　携挙（空中再臨）を待ち望む私たちの態度

- 宗教改革者ルターの逸話（出所不明）
  ある日、リンゴの木を植えていたルターに、
  通りがかりの人が、聞いた。
  「明日、世の終わりが来るならどうする？」
  「それでも、りんごの木を植える」

- 主の再臨を待ち望みつつ、今を生きるのが私たち。

49

適用　どんなに世が騒がしくても

「霊によってであれ、ことばによってであれ、私たちから出たかのような手紙によってであれ、主の日がすでに来たかのように言われるのを聞いても、すぐに落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしないでください。
IIテサロニケ2:2」

- 世界が終わるとか、終末は来たとか、騒ぐ人は増える。
  心を騒がせずに、落ち着いていることが大事。

50

適用　落ち着いて

「ところが、あなたがたの中には、怠惰な歩みをしている人たち、何も仕事をせずにおせっかいばかり焼いている人たちがいると聞いています。
そのような人たちに、主イエス・キリストによって命じ、勧めます。落ち着いて仕事をし、自分で得たパンを食べなさい。
兄弟たち、あなたがたは、たゆまず良い働きをしなさい。
IIテサロニケ3:11 ～13」

神と人々に、忠実に仕えているか？

51

★　それでもリンゴの木を植えよう　★

- 主を待ち望みつつ、目の前のことに向き合おう。
  誰に福音を伝え、誰と共に主に仕えるよう促されてる？
  身近な人との関係は？　自分自身の課題は？
  聖書の学びが、逃避の手段と化していないか？

- 教会として、促されている道は？　地域での証しは？
  一つのところに身を置いて、忠実に主に従っていこう。

この地に、主の希望を植え続けていこう

52

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
②墓に葬られ、
③三日目に復活されたこと、を信じます。
主のもとに挙げられる時を　私たちは待ち望んでいます。
主の約束を握りしめつつ、落ち着いて日々、主に従い、仕えます。
主の希望である福音をこの地に植え続けます。お守りください。
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」

53